

ドイツのエネルギーシフトと市民参加、 核廃棄物最終処分場問題

10月18日から21日まで、FoE ドイツ（ドイツ環境自然保護連盟、BUND）の代表らが来日します。
目的は、福島の実況や、川内原発再稼働反対運動など、ドイツであまり伝えられない日本の状況を見ることと、ドイツの原発・エネルギー政策に関する状況を共有することです。
ドイツの状況は、エネルギーシフトにブレーキがかかる日本の状況と共通する部分もあり、一方で、政策への市民団体の参画や、再生可能エネルギーの増加など、参考になる点も多くあります。
ぜひ、意見交換にご参加いただけましたら幸いです。

【日時】 2014年10月21日（火）16：30～19：00

【場所】 衆議院第二議員会館・多目的会議室（最寄：永田町、国会議事堂前）

【プログラム（予定）】

- 1）報告「ドイツのエネルギーシフトの現状、最終処分場問題」
フーベルト・ヴァイガー（FoE ドイツ代表理事）
リヒャルト・メルクナー（FoE ドイツ・バイエルン州支部理事）
- 2）原子力市民委員会からコメント
吉岡斉、細川弘明、満田夏花 ほか
- 3）原発ゼロの会のメンバーからコメント
- 4）質疑・意見交換



リヒャルト・メルクナー



【主催】 FoE Japan 【共催】 原子力市民委員会

【協力】 e シフト、原発ゼロの会、フリードリヒ・エーベルト財団

【資料代】 500 円（FoE Japan サポーターは無料）

【申込】 FoE Japan ウェブサイトよりお申し込みください。

【問合せ】 03-6909-5983 / 080-5173-0136（吉田）

●日程

10月18日（土）	到着、福島県田村郡三春町へ
10月19日（日）	午前：環境創造センター（三春町）、川内村、富岡町ゲートなど視察 （コーディネート：原発いらない福島の女たち 武藤類子さん） 15：00 郡山（教職員組合会館）にて福島の市民団体と意見交換、交流
10月20日（月）	福島県庁訪問＋記者会見（調整中）
10月21日（火）	公開セミナー「ドイツのエネルギーシフトと市民参加、核廃棄物最終処分場問題」
10月22日（水）	帰国

●現在のドイツの状況と環境団体、FoE ドイツの取り組み

1) エネルギーシフトの現状と政策

ドイツでは、再生可能エネルギーの割合が 23%以上に達するなど、再生可能エネルギー法により、エネルギーシフトへの実質的成果が上がっている。

一方で、現政権（第二次メルケル内閣、CDU・SPD 連立）は、化石燃料へのゆり戻しの動きもある。

再生可能エネルギー優遇政策はブレーキをかけられ、石炭回帰の動きも強い。

最近では脱原発運動への世論喚起も以前よりは難しくなっている。

2) 高レベル放射性廃棄物最終処分場問題と市民参加

長らくゴアレベンが、最終処分場の候補とされてきたが、安全性や住民の反対などにより 2013 年に白紙撤回された。新たに審議会「処分場委員会」が立ち上げられ、2015 年までに選定基準を提案、2031 年ごろまでに決定する予定。

この、処分委員会メンバーには、各政党や各州の代表のほか、専門家や市民団体の代表も参加しており、FoE ドイツからも、副代表のクラウス・ブルンスマイヤー氏が参加している。市民の意見を伝えるために重要という一方、核廃棄物について責任を取るべきは推進派であるという意見など、参加については内部でも複雑な議論がある。

しかしながら、倫理委員会なども含め、市民団体の代表や若者、教会関係者、など幅広いステークホルダーが政策決定プロセスに参加しているという背景も興味深い。

・ 処分場委員会（ドイツ） <http://www.endlagerung.de/>

●プロフィール

<フーベルト・ヴァイガー氏> Hubert Weiger

2007 年より FoE ドイツ（ドイツ環境自然保護連盟）代表理事。また FoE ドイツ・バイエルン州支部代表理事。

1974 年より自然保護連盟（FoE ドイツの前身、バイエルンの環境団体）の代表メンバーの一員であり、1975 年のドイツ環境自然保護連盟創設者のひとり。

専門は森林生態学、農学など。また反原発運動にも 40 年来携わる。

ドイツ政府・持続可能な開発審議会委員、欧州自然財団理事、バイエルン州公共ラジオ評議会評議員、トランスペアレンシー・インターナショナルドイツ評議員、ドイツ食糧農業消費者省・森林政策審議会委員 ほか。1947 年生まれ。2011 年 9 月、2012 年 3 月に来日し、福島、東京、福岡を訪問、講演。

<リヒャルト・メルクナー氏> Richard Mergner

2002 年より FoE ドイツ・バイエルン州支部理事。

経済地理学専攻。1990 年より FoE ドイツ・バイエルン州支部ニュルンベルク事務所のスポークスパーソン（専門担当官）。地域グループの取りまとめの他、公的機関である地域開発組合における環境団体の代表、地域開発計画の作成や遂行に関わる。1999 年から FoE ドイツの交通政策分科会の代表をつとめる。欧州交通政策グループ ITE や、プロテスタント教会の環境会議（KUK）メンバーなどもつとめる。2012 年 3 月に来日。